

『まもるん』を用いた加温によるオオバ斑点病の防除

『まもるん』とは？

葉の濡れ（結露）を推定する結露センサー付きの暖房機制御装置です。ハウス内を加温して湿度を下げ、結露を防ぎます。



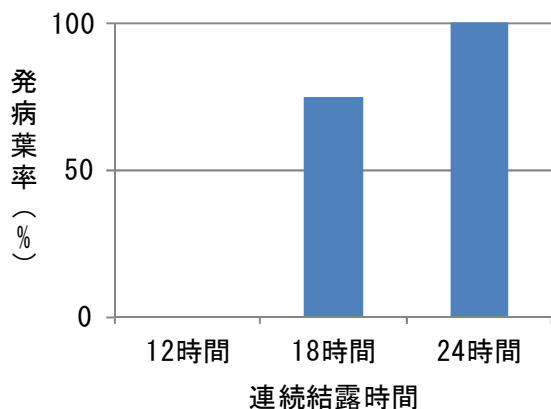
オオバ斑点病

葉に褐色の小斑点が発生する病気で、結露すると発病し、まん延します。主に夏場に発生し、斑点のある葉は出荷できません。

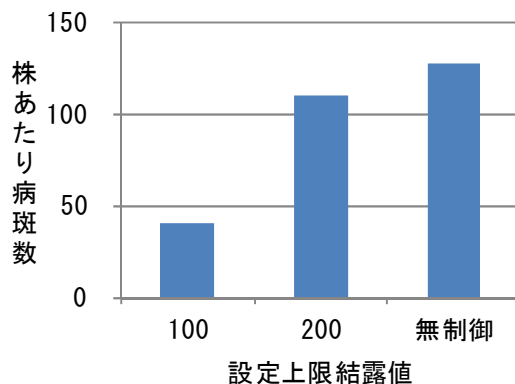


病原菌名：
Corynespora cassiicola

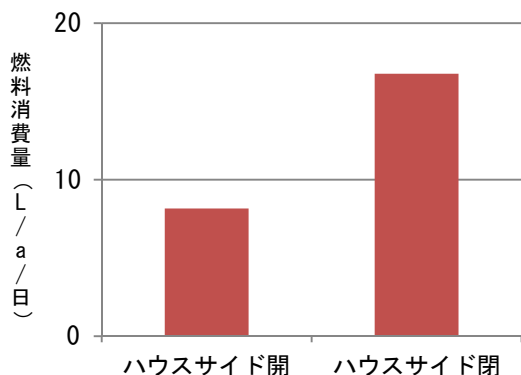
斑点病は、葉面の結露が12時間を超えると発病します。



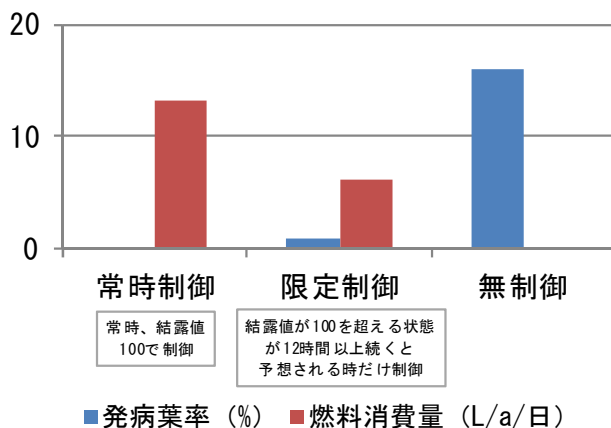
『まもるん』で結露値が100を超えないよう暖房機を制御して加温すると、防除効果が高くなります。



6～9月まで、ハウスサイドを開けたまま『まもるん』を使って加温すると、サイドを閉めて加温するよりも燃料費を削減できます。



燃料費を考慮すると、「限定制御」が一番お勧めです。



結露値が100を超える状態が12時間以上続く（日中の雨が夜まで続く、または、夜間の雨が翌朝以降も続く）と予想される時だけ、ハウスサイドを開けたまま『まもるん』で暖房機を制御する「限定制御」で、斑点病の省エネ防除が可能です。